



愛知陸協広報

第3号

18年7月15日発行

愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366



平成18年度に向けて

理事長 國分 一郎

本年は6月に第53回東海高校総体陸上競技大会（インターハイ東海地区予選会）、8月に第49回東海選手権大会、秋には第55回東海高校駅伝が愛知県で開催される。近年大きな大会の運営経験が無い我々は、ミスの無いように心がけねばならない。

国民体育大会は、夏季大会・秋季大会を同時季に開催するということから、これまでより、早くなっている。昨年愛知の陸上は、天皇杯得点が103.33点を取り、堂々3位となった。皇后杯得点は56点で5位。今年もこの成績を上回るよう努力してほしい。陸上の総合成績で、8位以内であれば、成績割りの県の強化費が次年度計上されるので、8位以上になることは、絶対条件です。

都道府県対抗男子駅伝については、例年優勝を狙えるメンバーで編成されているので、今年度は全員自己ベストの記録で走って優勝を目指してほしい。都道府県対抗女子駅伝については、実業団に強力なチームが無いことから、高校生競技者を強化していただき、『ふるさと制度』の活用に見出だしたい。

万博記念事業として実施を計画中の市町村対抗駅伝競走大会は、12月の早い時期を考えている。県知事も『良い計画』だと前向きにとらえてくれているので、ぜひ実現させたい。初めての試みのため、初回は公園内の道路で行なう考えている。多くの市町村が参加し盛り上がることを期待している。愛知陸協の会員の方々には、ご自分の市町村の選手選考・練習会等に積極的な支援をお願いしたい。

4月の理事会で、平成20年のレディース陸上競技大会を瑞穂で開催しようということになったので、日本陸連に提出する書類作成・女子審判員の養成等を行なわねばならない。役員定年制を決めたので、スムーズに事務局業務が引継がれるように取り組む年になる。

支部報告

尾張支部

1 全天候型陸上競技場の早期実現を!!

今年の4月1日に発行された愛知陸協広報第2号で紹介されたように、尾張支部から「県営一宮総合運動場を全天候型陸上競技場に改修して欲しい」という3回目の陳情書を同年2月22日に県知事、議長、副議長、教育長、文教委員長に提出し、この陳情に関する内容が2月定例県議会で関係議員から一般質問（3月1日）として取り上げられ、神田知事から「子供たちの競技がきちんとできないのは問題。時期を含め地元の要望に応えられるよう検討したい」との大変前向きな回答をいただいた。

その後も、今後の具体的なとりくみをどう進めていったらいいのかを関係者と相談をしながら、4月には地元の関係県議会議員の各氏にさらなるご支援、ご協力をお願いにあがり、暖かい励ましをうけ、また県議団の代表者からは、教育長に直接会って話す機会をもうけていただき、教育長自らがすでに一宮総合運動場を直接視察してきたということもお聞きし有難く感じました。5月には地元一宮市会議員の各氏にも、愛知陸協尾張支部の代表がお願いにあがり主旨に賛同を得ることができた。6月には尾張地区関係市町村長をはじめ代表の諸氏が一宮総合運動場改修の陳情をされたということをお聞き心強く感じています。愛知県の他支部にすべて全天候型陸上競技場が整った現在、尾張支部も一日でも早

く全天候型陸上競技場で競技者の皆さんに競い合って欲しい一念です。今後とも他支部の、あるいは陸上競技を愛する皆様方の一層のご支援、ご協力をお願いします。

2 全国高校総体出場者

男子 800m 山内健太郎（弥富）
5000mW 佐藤 幸二（一宮西）
ハンマー投 佐久間 徹（起工）
頑張れ大阪インターハイ!!

(理事長 小椋 征弘)

名古屋支部

18年度・支部事業がスタート

愛知陸協を支える主力の名古屋支部事業が力強くスタートした。冬季の陸上教室も大盛況でした。昨年同様、若い競技者の活躍を大いに期待します。ジュニアオリンピック・インターハイ・県選手権の予選も順調に済み本大会でその実力を遺憾無く発揮し、愛知の競技力発展の原動力となって欲しい。また指導者の献身的な尽力に感謝します。競技者と指導者の切磋琢磨が相乗効果を発揮し、大記録誕生につなげてもらいたい。

理事長として残念なことがあります。それは競技会出席審判が不足していることです。公認審判員は、加盟団体の登録会員または登記競技者でなければなりません。また、審判資格があっても毎年、登記・登録の更新が必要です。名古屋支部でも3年以上も登記・登録をされていない方が200名以上も居られることは悲しいことです。ぜひ登録を済ませ、競技会の審判員確保と自身の資

質向上に協力してください。愛知陸協審判部からも強く改善命令を受けています。登録公認審判員で運営されていない大会は、記録の公認申請の欠格条項となり、ひいては参加選手に迷惑をかけることとなります。さらに一部の審判員に加重な負担をかけています。名古屋支部として、この現状をぜひ改善していきたい。

年間40回近い競技会を平等に分担し、審判の空洞化を防ぎ、競技場で選手育成に貢献してください。ぜひ、お願いします。

1 支部表彰受賞者 (平成17年度分)

(1) 優秀選手賞

吉岡 康典 (大学一般・110mH)、平野 博之 (高校生・5000mW)
後藤 佑紀 (中学生・100m)、青木 貴司 (小学生・走幅跳)

(2) 優秀指導者賞

中嶋 英二 (愛知商業高教諭)、谷 政人 (名城大附高教諭)

2 名古屋支部主催の主な事業 (7~10月)

(1) 第3回支部陸上競技会 8/26 (土)・知多

(2) 支部中学新人大会 9/23 (土)・瑞穂、30 (土)・知多

(3) 支部選手権大会 10/28 (土)・29 (土)、瑞穂

(理事長 坂井田醇三)

西三河支部

近年、西三河支部には他地区で活躍された大監督・コーチがぞくぞく集まって見えました。その熱意・指導力に刺激を受け競技力向上に大変プラスになっている事は事実です。これが陸上教室・大会だけでなく、小・中学校の底辺拡大にも反映できる機会が計画できると幸いです。

高校総体県予選が終了した結果では、東海地区予選への参加選手は、目玉である女子走高跳をはじめ、延べ種目で男子23種目・女子14種目と健闘しています。今回は愛知が当番県という事もあり、地元の利を生かして1人でも多くの選手が全国インターハイへ出場してくれることを願っています。

先日の理事会で審判員の状況の報告がありましたが、まず全員の登記・登録をお願いしたい。また、第一回の参加希望調査では、220名に発送し回答123名55.9% (全欠席を含まず) であった。

年休を取りながら熱心に競技会に参加していただいている、頭の下がる思いの審判員も見えますが、反面回答もいただけない審判員が見えることも事実であり残念に思っています。

お互いにボランティア精神で運営している組織ですので、今後も愛知の陸上競技の発展のためにご協力いただきたいと思います。

また、平成20年の全国レディース陸上への立候補へ向けて、女性審判員の養成が急がれます。

幸い当地区には県陸協女性委員会の脇田委員長が見えますので、まず西三河より多くの女性審判員が誕生してくれることを願っています。できれば将来的に女性のみでレディース大会が運営できることを希望しています。

(理事長 柴田 和秀)

東三河支部

全国ナンバーワンに輝く、原 稔起君

渥美の里、田原陸上競技チームが第8回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会に連続出場し、第8位に入賞。(記録の詳細は「小学生友の会」参照)

小学生陸上の合言葉、「規律、礼儀、厳しさ」の中にも苦楽を共にする練習、笑顔で子供に接する山田照夫コーチ。陸上の原点を大事にすることが大切です。

東三マスターズ、奥様選手頑張る

昭和50年代から、マスターズ陸上をリードして来た先輩達に続いて、日本新記録に輝く、畠中一起 (豊川陸上自衛隊)、碓井由紀子 (国府、トヨタ、御津)、加藤敦子 (新城中京大豊川) の3種目優勝と、今日も元気にマスターズ選手は頑張っています。

東三支部、8月以降の競技会

第58回全三河中学校陸上競技選手権大会 (9/3、蒲郡)

東三河小学校陸上競技選手権大会 (9/24、豊橋)

東三河陸上競技選手権大会 (10/8、豊橋)

豊橋スポーツ、フェスタ (10/29、豊橋)

豊橋市100年祭記念、みなとシティーマラソンが開催されます。(11/12、豊橋)、全国の皆さんの参加を期待しています。

記念誌の発行

第58回豊橋市民陸上競技選手権大会 (8/6) を記念して、半世紀にわたる豊橋の陸上競技の歴史と、大会の記録集を発行します。

1部500円、小中高一般の各部門で活躍したチャンピオン達、多くのなつかしい顔ぶれに接する事が出来ます。

陸上競技大会の審判員にももの申す

審判員の権威、公正さに対応出来る審判員の育成が大切だとの声あがる。

中学・高校の監督、指導者の中には、公認審判員としての自覚のない方々が見受けられる。多くの観衆が、あなた方の審判の仕方を見ている。態度で示めそう、愛知陸協の皆さん。

(支部長 牧田 功)

専門委員会報告

審判委員会

I B級審判資格取得講習会開催 (5月21日、6月4日)

◎ 講師スタッフ 青木 実 榊原 茂 小森 好治
桑原 義貴 兵藤 重二

◎ 参加者名 27名

(尾張支部) 関 直人 船橋 孝茂
(名古屋支部) 岡本 美南 早川 智代 山本 涼子

下堂蘭明日香 田原 延康 村上 秀人
藤井 脩平 南 康次郎 島岡 稔

(西三支部) 櫻井 汐美 齊藤 公彦
坂井 美園 石川 真弓 大沼 芽生

日下部正美 横井 貴徳 柴田 大輔
鈴木 晶子 宮崎 誉子

(東三支部) 加藤 恭子 梶本 尚史 佐藤 充
鈴木 信弘 保手濱和幸 松井 誠彦

* 全員座学 (ルールの理解) 試験を合格して、実技実習後2007.4.1付けで公認審判員へと仲間入り、活躍していただきます。

II 大型映像装置研修会 (5月~6月)

東海高校総体 (6月16日~18日) において、名古屋市教育委員会の配慮で、大型映像装置テスト期間の最終回の研修を実施させてもらいました。

—大型ビジョンの試用始まる!—

すでに新聞報道されたように、昨年“愛・地球博”愛知万博で使用されたエキスポビジョンが、瑞穂運動公園陸上競技場に移設され、7月より本格運用が始まります。

その本格運用を前にした5月からの審判委員会を中心にしたメンバーが、試合中での操作訓練をかきねてきました。まず業者からの操作上の注意や方法の説明を受け、何度かの練習を積みかさねたうえで、本格的な試用が始まりました。全国高等学校総体 (インターハイ) を目指した東海4県の高校生競技者の緊張を考えると、競技に妨げになるのではなく、励みになるようにと心がけました。これまでの電光掲示盤では、カナ表示であったのに対して、新しいビジョンでは、漢字表示が可能になり、とても見やすくなりました。そのうえ、陸上競技場では全国初のハイビジョンでの映像が映し出せるようになり、とてもクリアーな映像が、

競技者や観客に競技中の映像やリプレーの映像として、大型ビジョンに映し出されるようになりました。



これまでの電光掲示盤とは違い、操作はとて難しくなったり、リレーなどの競技中の様々なトラブルを映像で録画して、その後の確認判定に利用されることが増えました。3日間の大会中は操作が不慣れな為、様々な失敗の連続だったので、とても緊張や苦勞をしましたが、何とか満足できるものであった。

しかし、過大な期待がかけられる不安や多くの課題や問題点があり、これから改善を進めながら、大型ビジョンの運用をしていきたいと思っています。

(田中 輝彦)

審判委員会からのお願い

- ①本年度より日本陸連への公認審判員数の報告については、登記・登録者のみに変更されました。したがって、登録手続きがまだの方は至急お願いします。
- ②審判出欠調査葉書の回答を必ずしてください。出欠に関わらず葉書を返送してください。ルールを守って頂けない方がいらっしゃるので活動に支障をきたしています。たとえば、審判員(参加校の顧問の先生にも委嘱しています)の適切な配置ができません。これでは、競技者に最善の状態での競技してもらうことが保証できなくなります。

審判出席調査返信はがきについて

支部	調査数	返答 (5/31)	返答率
尾張	130	55	42.3%
名古屋	410	168	41.0%
西三	220	123	55.9%
東三	160	88	55.0%
計	920	434	47.2%

(青木 実)

総務委員会

18年度もすでに3ヶ月が過ぎようとしている。登録関係は若干落ち着いたものの、5月27日現在で、すでに7,140名に達している。土曜・日曜と毎週開催されている競技会も、大きなトラブルもなく順調に行われている。特に、6月16・17・18日と東海高校総体が開かれ無事に終了した。

今年度より瑞穂の本競技場に、万博会場で使用された大型映像装置(エキスポビジョン)が移設され、競技会の盛り上がりに一層の花を添えている。

6月2日の理事会において、愛知陸協の規約が一部改定され、役員70歳定年制(会長・副会長は75歳)が決定された。(10頁参照)

陸協事務所のIT化も進み、6月よりホームページを開設している。12月2日(土)愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝(仮称)が万博跡地で予定されており、競技人口の増加およびレベルアップを期待するとともに、大会を是非成功させたい。

(稲垣 裕)

選手強化委員会

1 会議報告

4月23日、国体選手選考春季選抜競技会の開催に合わせて、第1回強化委員会を開催した。議題は以下の内容であった。

- ①第61回国民体育大会の選手選考について
- ②平成17年度強化合宿と強化練習会について
- ③強化委員会組織について

2 平成17年度国体・全国都道府県対抗駅伝強化合宿と強化練習会の予定

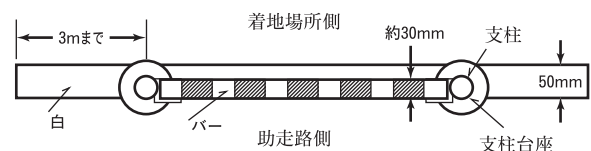
- ①国体選手一次合宿 8月22日～23日中津川公園陸上競技場、二次合宿9月23日～24日知多市陸上競技場で開催
- ②全国都道府県対抗男女駅伝合宿 12月25日～28日・瑞穂北陸上競技場、平成19年1月4日～5日・瑞穂北陸上競技場で開催。
- ③国体候補選手投てき合宿 12月9日～10日・岡崎総合運動場、平成19年1月27日～28日・一宮総合運動場、3月3日～4日・豊橋市営陸上競技場で開催。
- ④国体候補選手棒高跳合宿 12月22日～25日・中京大学梅村陸上競技場、平成19年3月22日～25日・中京大学梅村陸上競技場(いずれも日本棒高跳クラブ合宿に合流)で開催。
- ⑤国体候補選手短距離・跳躍・障害・競歩合宿 12月24日～26日・半田運動公園陸上競技場と美浜海岸で開催。
- ⑥国体候補選手短距離・跳躍・障害・競歩強化練習会 平成19年1月20日・中京大学梅村陸上競技場、2月17日、3月3日・知多市陸上競技場で開催。
- ⑦国体・都道府県対抗駅伝候補選手長距離合宿 8月24日～27日・富士見高原、12月25日～28日・瑞穂北陸上競技場で開催。

(水野 久)

施設・用器具委員会

日本陸上競技連盟より施設用器具に関わる内容の対応について通知がありました。また、走高跳の白線を引く位置について確認のために掲載いたします。

第182条②「〔注一IAAF〕判定を補助するために、バーの助走路側の面ならびにその延長上で両支柱の外側3mまでの地面に、粘着テープなどで幅50mmの白線を引く。その白線を踏んだり踏み越えたときは無効試技とする。」



第1種公認陸上競技場付帯による投てき場公認に関する細則

1. 投てき場の公認については、陸上競技場公認に関する細則によるほか、この細則に定めるところによる。
2. 投てき場には、つぎの施設を設置する。
 - ①砲丸投
 - ②円盤投
 - ③ハンマー投
 - ④やり投
3. 投てき場は観衆、役員、競技者に対して、安全対策施設(境界設備のフェンス柵、鉄柵など)が配慮されているものとする。
4. 投てき場の面積は7,000㎡以上とする。

5. 競技種目のもつ特質（競技ルールなど）を十分考慮した上で、敷地の形状、地形、方位などの条件を考慮して決める。
6. 投てき場の許容傾斜度は、幅で100分の1、投げる方向で1,000分の1以下とする。
7. 陸上競技場公認に関する細則、第15条、第17条の施設によるものとする。
8. 公認の認定を受けようとするときは、公認陸上競技場および長距離競走路ならびに競歩路規程第7条に準じた公認申請手続を必要とする。
9. 規則に適合している場合は公認証を発行する。公認番号は主競技場の枝番号とする。（例 ○○○号一投）
10. 公認料は、5,250円とし、公認期間を5ヵ年とする。
11. 既設の投てき場については、次回公認更新時に上記の要件を満たすこととする。」

【その他の確認事項】

- * ハンマーのハンドルについては、今年は従来のものも使用してよいが、順次新しいものに取り換えて行く。但し、国際競技会を開催するところでは、新規格のものを備える。
- * 高校男子の円盤は1,500kgで、国内とユースでは規格に多少の違いがあるが、今年はどちらを使用してもよいことになる。なお、全国高体連は平成20年度からジュニア規格の1,750kgの採用を決定している。
- * フィニッシュラインのレーンとの交点を5cm角で黒く塗っているが、2cm位のほうが精度が増すと指摘があったが、いろいろな状況を考えると従来のほうが安心できるとの結論となり、これは従来通りの5cm角とする。
- * 国内における自動応答計時システムの承認基準について【審判部の回答】
最低限はルールブック記載事項である。
新たなシステムが申請されたときに、考慮していることは
・時計の精度（電波時計、パソコン内蔵時計の区別、標準時との同期など）
・解像度（1秒間に100人程度の集団が通過した時に区別ができるか）
・受信エラーの確率とバックアップ体制（関門・フィニッシュでのビデオ撮影など）
・タグの取り付け位置とその方法（シューズに取り付けるタイプはトルソーに取り付けるタイプに転換するように要請＝シューズタイプはIAAFが認めている）
・アンテナの形式と設置・撤去のし易さ。
・取り込まれたデータの処理のし易さ。
以上を総合的に判断して、承認の可否を決めている。
- * ルールブックに「道路競走における世界記録」の公認要件があるのに、「日本記録」の公認要件がなかったため、2006年度規則から、日本記録の公認要件に世界記録の項、㉘(2)(3)(6)(7)を追加した。

規則修改正に伴う施設用器具委員会としての対応

ページ	条項	内 容	対 応
414	160	④レーン幅 最大幅 1m250	国際大会を開催するところは[注-IAAF]とするが、その他は最大幅 1m250を超えないものとする。
417	162	⑦緑旗（カード）	旗でもカードでもよい。
419	163	⑤違色のコーン	黄色とする。置く位置の変更注意到。
433	168	③ハードルジュニア 110m0.990	従来のまま、0.991とする。
436	169	⑤障害物 幅は少なくとも 3m940	従来のまま、3m960とする。

447	181	⑦バー たるみ 中央に3kgの錘を吊す。走高跳 7cm 棒高跳 11cm たわんでよい。	弾力性の調整ということだが、この基準は製造メーカーの出荷時の検査とする。
452	183	①見分けられる色の線	何色でも良いが、施設用器具委員会としては黄色を推奨する。
453	183	⑥助走路幅 最大幅 1m250	国際大会を開催するところは[注-IAAF]とするが、その他は最大幅 1m250を超えないものとする。
465	187	⑤…地盤はコンクリート、合成材質またはアスファルトでサークルを囲む。	サークル周囲の地盤という解釈でよい。
466	187	⑨やり投のスターティングライン 金属板、その他適当な材質が削除	[注]として金属板も認める。

(桑原 義貴)

記録委員会

記録委員会の業務は愛知陸協及び名古屋・尾張・西三河・東三河の4支部が主催・主管・共催する年間130を超える競技会の記録に関する全てを担当しています。また、愛知陸上競技選手権大会のように大会記録の設定されている競技会へ日本記録、県記録、大会記録をプログラム編成会議へ資料として報告します。

競技会では、各種目の記録を確認して各部署へ印刷配布、全種目の記録を再度確認し整理した1冊の記録集を公認申請用等を含め数十部作成し配布、訂正プログラムの確認、報道各社へFAX、その後、競技会終了後3週間以内に申請と規定されている日本陸上競技連盟へ公認記録申請書作成、添付する競技会の訂正用プログラム、記録集を再チェックして発送、専門誌へ記録集の発送、保存用の整理（3年間保存）、10傑用資料のチェックをして1競技会の処理が終わります。

また、重要な業務として、競技会において日本新記録を樹立したときの日本陸上競技連盟新記録（タイ）申請の準備、県記録の管理、愛知陸協年間10傑表の作成がある。複数の委員が間違い、収集洩れの無いよう細心の注意を払って作成し、それを照合し完成している。県外競技会については競技者からの記録証明書の提出が基本ですが、記録委員会として専門誌等の記事をチェックし記録収集しています。

(岡田 武彦)

女性委員会

女性委員会は、発足から2年目を迎えて委員の意識も徐々に高まってきました。本年度は、委員会の活動をさらに活性化していきたいと考えています。

本号では、3回目を迎える愛知レディース陸上競技会と全国レディース陸上競技大会について報告します。

愛知レディース陸上競技会は、外山競技委員長の発案により平成16年に県混成、県リレー大会と同時開催することで始まりしました。初年度の参加者は、130名程度と少なかったのですが、スウェーデンリレーや3000mSCなどのめずらしい種目を行ったことで注目を集めました。また県外からも興味を引かれたとの感想が寄せられました。昨年度の2回大会は、参加者も倍増し、期待の大きさを感じました。そこで本年度の3回大会は、さらに参加者の増加を目ざして日程を9月に変更し、県ジュニアオリンピック大会と同時開催することにしました。これにより昨年度より余裕が生まれ、データ入力やプログラム編成、大会当日の運営もスムーズに行うことができるのではないかと期待しています。しかし、女性審判員の参加が少ないという大きな問題が残っています。このことについての対策として、本年度から次のことを実施して

いくことにしました。

①積極的に広報活動を行う

広報誌、陸協ホームページ、大会プログラム等で審判の協力を呼びかける

②託児所を設置する

県混成、県リレー大会、県選手権大会、レディース陸上競技会の際に託児所を設ける

③学生審判員に協力を依頼する

「全国レディース陸上競技大会」については、日本陸連女性委員会から愛知県での開催の要請を受けました。その後、愛知陸協理事会で承認されて、平成20年秋に開催される第26回大会の開催地に立候補することになりました。女性委員会は、『女性参加者を増やし育成する』目的で発足しました。しかし今のままの地道な活動だけでは、その目的になかなか近づくことはできません。そこで全国大会を開催する過程をとおしてステップアップを図ることを考えています。開催の正式決定は、本年秋季頃になると思われます。今後は、実行委員会を立ち上げて準備を進めていきます。また審判委員会の協力を頂いて、主任・副主任級の審判員の育成を行います。

愛知レディース陸上競技会・全国レディース陸上競技大会に向けて、広く皆さんのご理解とご協力をお願いします。

(脇田 千鶴)

関係団体報告

小学生友の会

「日清食品カップ」第8回全国小学生クロスカントリーリレー研修大会 万博記念公園特設コース 平成18年3月26日(日)参加50チーム
チームは、男子・女子 各4人の8人編成 6人がリレー大会・2人が友好トライアル。

コースは、アップダウンの激しい1人1.5kmの周回コースを6周して競った。

田原陸上教室チーム 17年大会第9位
18年大会第8位(記録22.34)

監督 森下 義郎

第1区	第2区	第3区	第4区	第5区	第6区
山内 萌 30位 5.50 (30)	原 稔起 11位 4.56 (1) 19人抜き 全参加者 400人中1位	山田瑞紀 10位 5.43 (13) 1人抜き	岡田隼矢 10位 5.18 (13)	柴田温子 9位 5.44 (9) 1人抜き	高崎雄太郎 8位 5.05 (4) 1人抜き 参加者 400人中9位
友好タイムトライアル			河辺樹希也 5.27 14位	菰田有里子 5.36 3位	

監督談話 「17年に続いて2年目、保護者も含めたチーム全員の協力が実を結んだ」

(村上 叡治)

心豊かな長寿社会の実現への貢献役 マスターズ陸上

現在、愛知マスターズ陸上競技連盟の最大の課題は、全日本マスターズ陸上競技選手権大会を招致することです。

全日本マスターズ選手権は、日本マスターズ連合傘下の全国の連盟を8ブロックに分けそのブロック単位で順番を決めて開催しています。愛知マスターズが所属している東海ブロックでは、これまで2001年に第22回大会を静岡が開催しています。次の東海ブロックの当番年が2009年となっています。

東海ブロックでは東海マスターズ選手権大会を開催しています

が、その開催順序は、静岡、愛知、長野、三重、岐阜の順番で行っていることや、会員の規模等から、全日本の順番も静岡の次は愛知ということで、これまで東海ブロックから再三強く要請を受けていたところです。

ただ、全日本マスターズ選手権大会といっても、決められた記録や各道府県を勝ち上がった選手が出場するのではなく、日本マスターズ連合の会員であれば誰でも出ることができる全国大会です。

この大会を開催地のマスターズ連盟独自で大会運営ができるのは、47都道府県どこにもありません。地元の陸協を始め多くの方々のご理解と支援、協力無くして開催できないのが実情であり、特に、競技の運営については、これまで開催された大会では、すべて地元の陸協が主管となって開催しています。

このような状況から愛知マスターズ連盟としては、関係する方々に趣旨説明をし、ご相談申し上げたところ概ねのご賛同をいただきましたので、愛知マスターズ連盟の総会で2009年の第30回大会を招致することに決定し、3年後の開催に向け準備を進めているところです。

開催が決定された暁には、愛知陸協の皆様のご理解と絶大なるご支援、ご協力をお願いするところであります。

今年の愛知マスターズ選手権大会は5月21日に刈谷市で開催し、196人の参加があり無事終了しました。役員、審判員の方々のご協力ありがとうございました(結果は8頁参照)。

(理事長 佐野 昭二)

競技会報告

2006年(第27回)名古屋国際女子マラソン大会
兼第15回アジア競技大会代表選手選考競技会
平成18年3月12日(日)
瑞穂公園陸上競技場付属マラソンコース 42.195km

招待競技者(外国5名、日本9名)を含む208名の女性ランナーが、早春の雨の中名古屋の街を沿道の多くのファンの声援を受けながらその健脚を競いあった。

レースは41km過ぎ、先頭に立った弘山選手がそのままゴールし、マラソン10回目にして初めての栄冠を獲得した。

期待された地元の大南選手は体調が今一つ不良だったのか第8位に終わったが、本大会は愛知選手権女子マラソンも兼ねているので、平成17年度の選手権者(第2号既載)となった。

成績(完走者142名)

順位	氏名	所属	記録
1	弘山 晴美	(東京・資生堂)	2.23.26
2	洪井 陽子	(東京・三井住友海上)	2.23.58
3	堀江 知佳	(千葉・アルゼAC)	2.28.01
以下、愛知陸協関係分(記録3時間以上は順位、氏名、所属のみ)			
8	大南 博美	(トヨタ車体)	2.30.23
30	竹内 敬恵	(南山大)	2.49.33
42	福安ひふみ	(館俱樂部)	2.54.31
49	丹羽 照美	(三菱電機稲沢)	2.57.53
51	中山 淳子	(愛教大クラブ名古屋)	2.58.25
61	青戸 敦子	(さかえクリニック)	64 斎藤 恭子 (館俱樂部)
68	本庄 愉美	(愛知県庁クラブ)	76 永田 久子 (名古屋学院クラブ)
83	荻野さとみ	(名城ARC)	85 柴田 裕子 (トヨタスポーツクラブ)
90	梅原 恵子	(名城ARC)	94 松谷 恵子 (名大俱樂部)
100	檜尾 園子	(名城ARC)	102 樋口 直美 (三菱重工名古屋)
105	小島 憲子	(名城ARC)	117 大野真由美 (天白川走友会)
131	旭 菜穂子	(津島AC)	132 岸上 香織 (名大俱樂部)
136	笠原 千里	(日本福祉大)	139 小澤 清子 (愛知陸協)

第54回日比野賞中日豊橋マラソン大会

平成18年3月19日(日)10時00分スタート
豊橋市陸上競技場付属公認豊橋マラソンコース

成績(137名参加、完走者64名)

順位	氏名	所属	記録
1	江本 悟司	(愛知・三菱自岡崎)	2.23.11*
2	武藤 一宏	(岐阜・KYBカヤバ)	2.30.04
3	長谷 英孝	(愛知・TWRC)	2.30.59
5	磯部 敏満	(TPAC)	
7	藤井 忍	(中央発條)	
8	穴井 一滋	(TWRC)	
9	山田 和広	(トヨタスポーツマンクラブ)	
10	平尾 一郎	(岡崎クラブ)	
14	玉井 利明	(名古屋大)	
15	稲葉 賢治	(館俱樂部)	
16	横井 敬一	(天白川走友会)	
18	高橋 善泰	(菊里クラブ)	
19	鈴木 隆正	(TTランナーズ)	
20	岡田 庄平	(TWRC)	
30	大形 剛	(名古屋市消防局)	

以下、愛知陸協関係分、30位まで、記録省略
※平成17年愛知選手権男子マラソン選手権者(第2号既載)

第28回犬山ハーフマラソン大会

第28回犬山ハーフマラソンが去る2月26日(日)、犬山市の公認犬山ハーフマラソンコース(名証犬山総合運動場着発点)にて3部門(10キロロードコース、一般ハーフマラソン、公認ハーフマラソン)が開催された。エントリー数は5,415名であった。

10時スタートの公認ハーフマラソンの部には、男女同時スタートで招待選手男女を含む565人のランナーが参加し、その健脚を競った。スタート時は生憎の雨。天気予報もレース中の回復が見込めない悪コンディション。記録への期待感を裏切るような恨めしげな雨模様も意欲も萎えがちだ。しかし、スタート時の選手それぞれの表情はその不安を払拭するようなもので、眼差しがフィニッシュの瞬間の一点を見つめているような緊迫したものだった。

号砲一発、一斉にフィニッシュに向けてスタートが切られた。この大会は今、まさに将来のオリンピックで活躍するランナーを夢見る新人の登竜門としての地位を確立しつつある。それは、かつて同じ夢を見てオリンピックロードをひた走った先輩、高橋尚子選手、そして野口みずき選手の存在に通じるものだ。

また今回、マラソン大会として姉妹提携しているオーストラリア、メルボルンからの招待選手も激走した。残念だったのは、悪天候で参加をとりやめたランナーがでたこと、悪天候をおして参加したランナーの中に体調を崩して途中棄権をしたランナーが多かったことだ。来年の大会には是非リベンジを果たし、完走、自己新を目指していただきたい。

最後に、本大会に元五輪代表の山下佐知子さん、渡辺康幸さんがゲストランナーとして参加し大会が大いに盛り上がった。また、大会運営に地元犬山市を始め、関係諸団体のボランティアの方々に大変なお力添えをいただいたことに心より感謝申し上げます。



写真提供: 読売新聞社

公認ハーフマラソン成績

男子優勝者	山本 亮	(中央大)	1.03.47
女子優勝者	尾西 美咲	(積水化学)	1.13.10
豪州招待女子	ヘレン・スタントン		12位

以下、愛知陸協関係分、20位まで

男子ハーフマラソン

順位	氏名	所属	記録
5	重見 高好	中央発條	1.04.00
7	鈴木 伸司	愛三工業	1.04.19
8	川 直人	愛三工業	1.04.30
11	村野 真一	愛知陸協	1.04.48
14	宮本 斉浩	愛知製鋼	1.05.14
16	原田 恵輔	中京大	1.05.42
19	水木 圭	愛三工業	1.05.45
20	佐藤 良仁	トエネック	1.05.46

女子ハーフマラソン

順位	氏名	所属	記録
8	岩狭めぐみ	小島プレス	1.18.23
9	永田こころ	中京大	1.19.39
10	山元 美駒	椋山女大	1.19.52
16	道家 三穂	中京大	1.23.58
17	福安ひふみ	館俱樂部	1.24.49
20	加藤 舞	中京大	1.26.20

(原川 豪)

第15回アジア競技大会(カタール・ドーハ)

第1次日本代表選手に愛知陸協の室伏(広)選手
はじめ4名が選ばれる

6/30~7/2の日本陸上競技選手権大会(神戸総合運動公園ユニバー記念競技場)および6/24・25の同混成競技大会(石川県西部緑地公園陸上競技場)の結果、愛知陸協関係として次の4名の選手が第15回アジア大会の代表に選ばれました。

代表選手の皆さんには、同大会でのご活躍と来年の世界陸上大阪大会や'08年の北京オリンピックに繋がる好成績を挙げられることを期待します。

種目	氏名	所属
ハードル	内藤 克人	ミズノ
投擲	室伏 広治	ミズノ
長距離	大南 博美	トヨタ車体
混成	中田 有紀	日本保育サービス

第50回中部実業団対抗陸上競技大会

平成18年5月13日(土)・14日(日)
岐阜メモリアルセンター長良川競技場
愛知陸協関係分(1位のみ)

<男子>

- 立松 健宏 (100m 10.59 笈瀬中教)
- 沼田 拓也 (800m 1.55.40 トヨタ自動車)
- 尾田 賢典 (1500m 3.49.90 トヨタ自動車)
- ジョン・カリウキ (10000m 27.47.85 トヨタ紡織)
- 吉岡 康典 (110mH 13.90 JBR)
- 加藤 聡 (300mSC 9.01.07 トヨタ自動車)
- 吉原 政人 (10000mW 43.00.28 プロシード)
- 4×100mリレー (41.68 トヨタ自動車)

伊藤 智・田中 星次・原 伸次・中村 洋文
 ・4×400mリレー (3.20.27 トヨタ自動車)
 中村 洋文・原 勇太・田中 星次・原 伸次
 ・宇野 雅昭 (走高跳 1.90 岡崎城西高教)
 ・田村 雄志 (棒高跳 5.00 三好高教)
 ・宮崎 隆介 (三段跳 14.20 高木小教)

〈女子〉

・五明 淑恵 (200m 24.93 小島プレス)
 ・新谷 美佳 (400m 57.69 小島プレス)
 ・大南 博美 (10000m 32.20.14 トヨタ車体)
 ・阪野 裕子 (400mH 61.86 栄クリニック)
 ・秋葉 真弓 (5000mW 25.17.85 トヨタ自動車 大会新)
 ・4×100mリレー (47.73 トヨタ自動車 大会新)
 森島 一美・大沼 芽生・吉村 美紀・吉村 美保
 ・4×400mリレー (3.58.66 トヨタ自動車)
 森島 一美・林 加世子・山口 真季・吉村 美紀
 ・日高 里子 (走高跳 1.70 トヨタ自動車)
 ・室伏 由佳 (円盤投 53.72 ミズノ)
 ・室伏 由佳 (ハンマー投 62.20 ミズノ)
 (樋高 勇二)

平成 18 年度東海高校総体
 平成 18 年 6 月 16 日 (金)～18日(日)
 瑞穂公園陸上競技場

男子総合 名古屋 2年ぶり 3 回目の優勝
女子総合 2 位至学館、3 位中京大中京 3 位入賞

去る 6 月 16 日 (金)～18 日 (日) に行われました東海高校総体では、愛知陸上競技協会、愛知県高等学校体育連盟、瑞穂陸上競技場、各高等学校 (含、補助員) その他関係各方面の方々には、大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。4 年に 1 回の大会ということで不手際な点もあり、何かとご迷惑をおかけしたと存じますが、特に大きなトラブルもなく、無事終了することができました。これも偏に、大会運営にご協力いただいた方々のおかげと、厚く感謝申し上げます。

梅雨の最中にもかかわらず、天候にもまざまず恵まれ、2 種目で大会新記録が生まれました。その中で愛知県選手もよく活躍し、男女 38 種目中 16 種目優勝し、全国高校総体には個人種目で延べ 63 名、リレーで延べ 7 チームが出場できることになりました。

今年度の全国高校総体は、大阪市の長居陸上競技場で、8 月 2 日 (水)～6 日 (日) までの 5 日間熱戦が繰り広げられる予定です。愛知県の選手も数々の活躍をしてくれるものと期待しておりますが、その結果は、次回の紙面で紹介させていただきます。

平成 18 年度東海高校総体入賞者一覧

[男子]

No.	種目	順位	記録	氏名	校名
1	100m	1	10.93	田口 博崇	愛工大名電
2		5	11.08	都築 純	西 尾
3	200m	2	21.92	田口 博崇	愛工大名電
4		5	22.08	勝俣 章博	中京大中京
5	400m	1	47.26	勝俣 章博	中京大中京
6		5	48.43	恩田 健人	惟 信
7	800m	1	1.55.27	藤田 祐貴	安 城

8		2	1.55.58	粟津 良介	愛工大名電
9		4	1.56.06	山内健太郎	弥 富
10	1500m	2	4.00.69	小山 俊之	東 海
11		5	4.01.46	鷺田 雅哉	豊 川 工
12	5000m	1	14.36.29	安田 健人	中京大中京
13		2	14.36.71	三田 裕介	豊 川 工
14		6	14.41.00	清水 紀仁	豊 川 工
15	110mH	1	14.92	近藤 敦嗣	名 古 屋
16		3	15.06	山本 裕紀	名 古 屋
17	400mH	3	54.73	ラッシュ 恵	刈 谷
18	3000mSC	2	9.10.41	市川 貴洋	豊 川 工
19		6	9.16.25	岡部 寛之	豊 川 工
20	5000mW	1	22.31.02	佐藤 幸二	一 宮 西
21		2	22.31.39	井畑 慶祐	豊 川 工
22		3	22.31.85	鈴木 基文	豊 川 工
23	4×100mR	1	41.44	市川・中野・近藤・平本	名 古 屋
24		3	41.93	屋貝・後藤・勝俣・伴野	中京大中京
25	4×400mR	1	3.18.50	日下部・近藤・水野・中野	名 古 屋
26		4	3.19.33	石田・森・加藤・寺部	名古屋大谷
27	走高跳	2	1.98	坂田 庸介	小 坂 井
28		4	1.98	舟瀬 勇太	中京大中京
29		5	1.95	柴田 晴久	成 章
30	棒高跳	4	4.60	内田 哲郎	三 好
31	走幅跳	1	7.19	西 航司	名古屋大谷
32	三段跳	6	14.28	松藤 真	岡 崎 北
33	砲丸投	5	15.20	久保 博規	名 古 屋
34		6	15.16	宮本 英幸	愛産大三河
35	円盤投	1	51.92	久保 博規	名 古 屋
36	ハンマー投	2	57.14	久保 博規	名 古 屋
37		3	57.09	宮本 英幸	愛産大三河
38		4	53.49	谷口 翔惟	名 古 屋
39		5	52.86	佐久間 徹	起 工
40	やり投	2	58.54	森下 騰盛	名古屋大谷
41		3	57.98	土田 基由	至 学 館
42		4	57.70	渡辺 郁弥	名城大附
43	8 種競技	6	4620 点	大林 太朗	明 和

男子総合 優勝 名古屋 4 位 豊川工 6 位 中京大中京
 トラックの部 優勝 豊川工 2 位 名古屋 3 位 中京大中京
 フィールドの部 2 位 名古屋

[女子]

No.	種目	順位	記録	氏名	校名
1	100m	3	12.39	谷澤ちひろ	中京大中京
2	200m	3	25.06	今井沙緒里	至学館
3	800m	1	2.13.71	成瀬直	至学館
4		3	2.14.47	山本ゆき	旭野
5	1500m	1	4.26.42	成瀬直	至学館
6		2	4.28.31	奥田和佳奈	豊川工
7		3	4.28.72	亀井久美子	豊橋東
8	3000m	1	9.29.16	林有希子	中京大中京
9		5	9.34.98	亀井久美子	豊橋東
10		6	9.35.16	中條宏美	愛知淑徳
11	100mH	2	14.56	安藤由加里	至学館
12		3	14.70	伊藤綾夏	中京大中京
13		5	14.74	中川佳美	中京大中京
14	400mH	5	63.70	石田朋美	名城大附
15	3000mW	5	14.54.87	毛利仁美	惟信
16		6	15.05.28	齋藤千花	岡崎商
17	4×100mR	3	47.92	花井・安藤・後藤・今井	至学館
18	4×400mR	2	3.54.26	水口・樋口・土井・千代島	愛知淑徳
19		5	3.54.87	長崎・近藤・中川・谷澤	中京大中京
20	走高跳	2	1.70	川澄真子	岡崎城西
21		2	1.70	高山歩	至学館
22		5	1.61	竹内梨里	至学館
23		6	1.61	服部珠美	豊丘
24	走幅跳	4	5.92	賀川綾子	名古屋西
25		5	5.62	山本明美	中京大中京
26	円盤投	1	34.95	柵木悠	岡崎北
27	やり投	1	46.40	吉野菜美	愛知商
28		2	43.06	東野麻衣	田口
29	7種競技	1	4595点	伊藤綾夏	中京大中京
30		2	4297点	太田穂	名城大附

女子総合 2位 至学館 3位 中京大中京
 トラックの部 2位 至学館 3位 中京大中京
 フィールドの部 3位 至学館

18年度愛知県高校総体総合成績 18.5.19.~21 瑞穂競技場

[男子]

総合 優勝 名古屋 2位 中京大中京 3位 豊川工
 4位 名古屋大谷 5位 愛工大名電 6位 愛産大三河
 トラック 優勝 豊川工 2位 中京大中京 3位 名古屋
 フィールド 優勝 名古屋 2位 名古屋大谷 3位 愛産大三河

[女子]

総合 優勝 中京大中京 2位 至学館 3位 愛知淑徳
 4位 瑞陵 5位 日進西 6位 名城大附
 トラック 優勝 中京大中京 2位 至学館 3位 愛知淑徳
 フィールド 優勝 至学館 2位 岡崎北 3位 中京大中京
 (大島 修)

**第19回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝
 富山大会愛知県成績**
 平成18年4月16日(日) 富山県宮陸上競技場付設コース
 愛知県監督 松本 幸人

男子の部 総合順位 8位 記録 1.55.57 参加 32 都府県

区間	距離	年齢クラス	選手名	所属	区間記録	区間順位
1区	5.4k	M45	下川 勝彦	トヨススポーツマンクラブ	17.29	8位
2区	5.0k	M60	佐野 昭二	愛知県庁クラブ	18.42	13位
3区	5.0k	M55	馬場 哲	トヨススポーツマンクラブ	18.10	10位
4区	5.0k	M50	岩月 幹俊	牧内ミルク	17.21	10位
5区	6.9k	M40	村瀬 裕之	愛知製鋼	21.58	3位
6区	6.9k	M35	犬塚 勝美	庄内RT	22.17	15位

女子の部 総合順位 5位 記録 1.19.35 参加 18 府県

区間	距離	年齢クラス	選手名	所属	区間記録	区間順位
1区	5.4k	W35	青戸 敦子	栄クリニック	20.26	9位
2区	5.0k	W40	中山 淳子	愛教大名古屋	19.46	6位
3区	5.0k	W40	加藤 順子	菊里クラブ	19.14	2位
4区	5.0k	W35	犬塚 双葉	庄内RT	20.09	10位

エルダーの部 総合順位 7位 記録 1.22.35 参加 20 府県

区間	距離	年齢クラス	選手名	所属	区間記録	区間順位
1区	5.4k	W50	東 二三子	三好走ろう会	21.36	2位
2区	5.0k	M60	大泉 通	東海走友会	19.35	6位
3区	5.0k	W50	前田真由美	東海走友会	22.05	11位
4区	5.0k	M60	近藤 健志	トヨススポーツマンクラブ	19.19	3位

第18回愛知マスターズ陸上競技選手権大会での新記録の状況
 平成18年5月21日(日)刈谷市総合運動公園陸上競技場



力走する選手

日本記録 11
 愛知県記録 15 (日本記録を除く)
 同 タイ記録 2
 大会記録 31 (日本記録・愛知県記録を除く)
 同 タイ記録 1
 (佐野 昭二)

特 集 記 事

ご存知ですか「医事部会トレーナーの活動」

医事部会では競技中に発生したさまざまな傷害に医師・看護師・トレーナー等が適切な処置をしています。

本号では、その活躍ぶりを理事会での報告資料を参考にして、その一端を紹介します。

表1は、2003～2005年の3年間のトレーナー部の活動回数と処置の内容をみたものです。

表1 トレーナー部活動回数(日)と処置の内容

年 度	活動回数(日)	処 置 の 内 容						
		アイシング	マッサージ	テーピング	治療	病院への搬送	その他	計
2005	68	1522	7	1157	143	8	667	3504
2004	61	1250	16	1050	121	2	583	3022
2003	56	1052	37	1071	145	4	535	2844

2005年では、活動回数は56日、処置の内容は①アイシング(1522)、②テーピング(1157)が多くなっています。特にアイシングでは単に氷のみを手渡すのではなく、医務室でトレーナーの指示のもとで行ない、選手に直接、ケアの指示、アドバイス等を行なった。

また、病院への搬送が8件あったがその内訳は次のようであった。

- ・高校生男子：気胸の疑い。
- ・高校生男子(走幅跳)：腓骨骨折。
- ・高校生男子：爪の損傷。
- ・小学生女子(ハードル)：転倒時の肩関節脱臼。
- ・高校生男子(3000mSC)：下腿後面部切創。
- ・中学生男子：転倒による前腕部骨折の疑い。
- ・高校生女子(ハードル)：転倒時に肘関節損傷。
- ・中学生男子(ハードル)：転倒時の前腕部骨折の疑い。

次に、2005年度に処置した傷害の内容を部位別にみたのが図1です。

男子では、「大腿後面部」の傷害がもっとも多い。この傾向は特に短距離、ハードルの選手に多かったが、これは瞬時に大きなストレスがかかる部位であることが考えられる。次に多かった部位は「膝関節」であったが、その原因としては大腿部の柔軟性不足などがあげられケアが必要と考えられる。

女子では、「下腿内側」、「大腿前面」、「大腿後面」、「膝関節」の順で多かった。「下腿内側」は主にシンスプリントによるもので、アライメント(骨配列)、筋力、シューズの問題のほかに、女子では月経の関連性も高いと考えられる。また、「大腿前面」ではアライメントの問題が大きく関わる部位であり、筋力、柔軟

性の問題と同様に考えるべきであると思われる。

スポーツ傷害は、時には競技生活を断念しなければならないような重大な事態を招く危険性をもはらんでいる。

今後、トレーナー部から各学校の顧問の先生方へのスポーツ傷害予防のアドバイスが必要になるかも知れない。

(編集委員会)

役員会議報告

○理事会 4月21日(金) 県教育会館

1 協議事項

- ①愛知万博メモリアル市町村対抗駅伝競走大会(仮)について
- ②愛知陸上競技協会『役員の定年制』導入について*
- ③専門委員会委員の再編成について
- ④平成18年度要覧について
- ⑤平成18年度選手強化計画について
- ⑥平成19年度からの競技会等参加料の納付方法について
- ⑦平成20年度『第26回レディース陸上競技大会』開催地について
- ⑧全国マスターズ陸上競技大会開催について
- ⑨その他 ※別掲

2 報告事項

- ①日本陸連評議員会報告について
- ②特別表彰者について(日本記録樹立者)
- ③全国競技大会日程(カレンダー)について
- ④平成17年の記録集について
- ⑤各専門委員会活性化を実施する年間計画の報告
- ⑥名古屋国際女子マラソン大会の反省事項の報告
- ⑦中日豊橋マラソン大会の反省事項の報告
- ⑧各専門委員会報告
- ⑨その他

○理事会 6月2日(金) 県教育会館

1 協議事項

省略(定時評議員会参照)

2 報告事項

- (1)各専門委員会報告
- (2)「愛知陸協広報」第3号について
- (3)その他

○定時評議員会 6月2日(金)、県教育会館

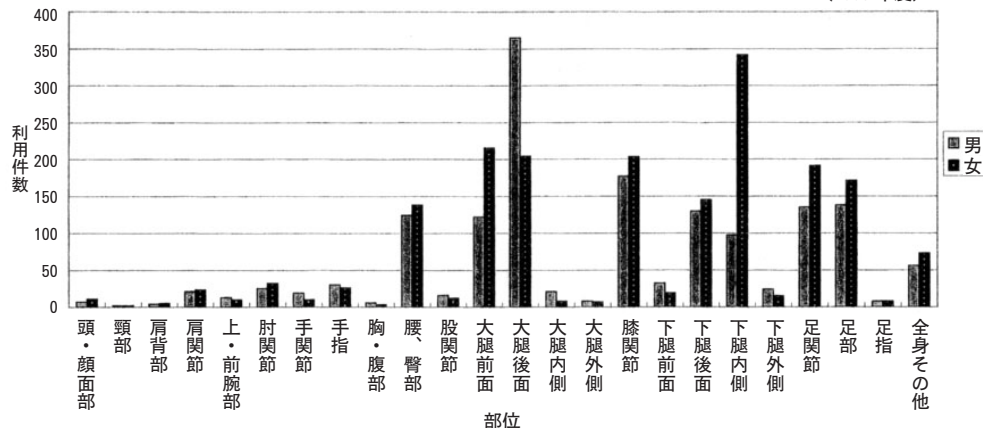
評議員191名中、156名出席(委任状含む)。出席率81.75%で定足数充足。

下記諸議案について協議の結果、満場一致で可決、承認された。

1 議案協議

- (1)平成17年度 一般概要報告
- (2)平成17年度 事業報告書の承認について
- (3)平成17年度 収支決算書の承認について*
- (4)平成18年度 事業計画(案)について
- (5)平成18年度 収支予算書(案)について
- (6)愛知陸上競技協会規約の一部改定について*
- (7)専門委員会規定の一部改正について*
- (8)その他 ※別掲

図1 部位別・男女別にみた処置件数 (2005年度)



愛知陸上競技協会規約の一部改定 「役員」の定年制度に関する規則

平成 18 年 6 月 2 日 評議員会決議

第 1 条 (主旨)

この規則は、愛知陸上競技協会規約第 6 条第 3 項に定めた役員
の定年制度に関する事項について定める。

第 2 条 (役員)の定年)

1. 役員は就任時において、その年齢が 70 歳未満でなければならない。
2. 任期期間中において満 70 歳を迎えた者は、その任期期間は役員として在任するものとする。
3. 役員のうち、会長、副会長(四支部長を含む。)は就任時において、その年齢が 75 歳未満でなければならない。
4. 役員のうち、顧問、参与には、定年制限を適用しない。

第 3 条 (細則)

この規則に定めるもののほか、必要な事項は理事会が定める。

付 則

- 1 この規則は、平成 18 年 7 月 1 日から施行する。ただし、施行日の前日に役員として在任している者は、その任期期間は在任するものとする。
- 2 次期(平成 19 年度)の役員改選時に理事会は、年齢 73 歳未満の理事を 2 名以内に限り推薦することができる。

平成 17 年度 愛知陸上競技協会収支決算書 (平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで)

収入総額	107,045,712 円
支出総額	89,418,624 円
次年度繰越金	17,627,088 円

○ 収入の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	差 異
前年度繰越金	7,240,000	7,239,386	614
基 本 金	0	9,180,000	△ 9,180,000
加 盟 金	14,730,000	14,823,700	△ 93,700
補 助 金	2,570,000	2,839,440	△ 269,440
分 担 金	38,900,000	41,493,648	△ 2,593,648
協 賛 金	0	390,000	△ 390,000
交 付 金	5,680,000	5,404,910	275,090
広 告 料	230,000	200,000	30,000
参 加 料	17,720,000	18,385,600	△ 665,600
小学生友の会	600,000	515,000	85,000
雑 収 入	5,330,000	6,574,028	△ 1,244,028
合 計	93,000,000	107,045,712	△ 14,045,712

○ 支出の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	差 異
運 営 費	19,510,000	19,166,392	343,608
事 業 費*	71,220,000	68,716,442	2,503,558
負 担 金	1,510,000	1,535,790	△ 25,790
予 備 費	760,000	0	760,000
小 計	93,000,000	89,418,624	3,581,376
次年度繰越金	0	17,627,088	△ 17,627,088
合 計	93,000,000	107,045,712	△ 14,045,712

※事業費の内訳

単位：円

科 目	予算額	決算額	差 異
競 技 会 費	18,390,000	17,394,060	995,940
共催事業費	28,850,000	27,903,695	946,305
派 遣 費	9,980,000	8,880,141	1,099,859

強 化 費	10,270,000	10,970,271	△ 700,271
普 及 費	3,730,000	3,568,275	161,725
計	71,220,000	68,716,442	2,503,558

お く や み

長年、本県の陸上競技発展のため多大のご尽力を頂きましてありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	支部名
小田 豊治	18・6	東三河
石川 昇一	18・6	尾 張

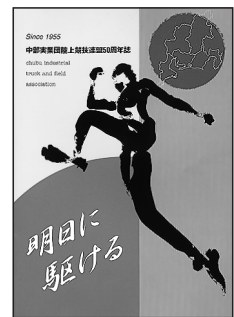
人 事 関 係

4月21日付 常務理事 岡田 武彦(記録)

〈 紹 介 〉

中部実業団陸上競技連盟は、この度「明日に駆ける～中部実業団陸上競技連盟 50 周年誌～」(写真—18 年 3 月 27 日—)を刊行した。

本誌は、中部連盟 50 年の歩み、50 周年座談会、各大会の記録・資料・規約等から構成され、内容の充実した A4、50 頁の冊子である。



広報委員会からのお願いとお知らせ

広報誌の内容を充実させるために本委員会では下記のような企画(仮称)を検討しています。

皆さんのご意見や感想をお寄せ下さい。

「名岐駅伝今昔物語」：昭和 5 年に始まった伝統のある駅伝であり、今のうちに資料収集を行い、まとめておくことが大切。70 数年の年月と 60 回の大会を時系列的に叙述することは困難な作業であるが、可能な限り時間をかけて取り組むのにふさわしいテーマではないかと考える。

「ホープ」：現在及び将来、県及び日本を代表するアスリートになる可能性の高い競技者をとりあげる。

「クラブ紹介」：学校・企業・地域で活発に活動しているクラブを取り上げる。自薦、他薦不問。

「瑞穂競技場物語」：戦後の国体開催から今日までの競技場の移り変わりを辿る。

「この人は今」：競技者や競技役員として活躍した人の現役時代と現在を取り上げる。

「Q & A」：質問の内容は特に問わない。可能な限り関係者の協力を頂いて回答する。登記・登録者と協会(広報)との繋がりを高める役目を果たすことが期待できる。

編 集 後 記

本誌も第 3 号となりましたが、少しは存在を知られるようになってきたでしょうか。

これからも皆様のご協力を得て、愛知の陸上の発展に寄与していきたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

編 集 委 員

占部 輝之 大西 敏功 榊原 茂 田中 輝彦 外山みな子
中尾 洋一 西垣 完彦 野口 一昭 平川 貴之 山本 三郎